

おひさま サタタ

2017



vol.175

8



はいっポーズ!

《訓子府地区・高園》

杉山正樹さんと椿ちゃん・正宗くん

まさむね

(紹介は2ページです)

特集

- 第14回JAきたみらい乳牛共進会
- 新規就農者激励状授与式と交流研修会開く



季節の薫り



白い玉葱「真白（ましろ）」の収穫

猛暑が続く7月中旬、北見地区では白い玉葱「真白」の収穫作業が始まりました。真白は主に生で食べる玉葱でシャキシャキした食感、辛みが少なく、甘みがあるのが特徴です。

北見市こだわり野菜部会真白栽培グループ部会長の藤原義忠さんのほ場では、16日朝から真白の収穫を開始。真白は暑さにとても弱く傷がつきやすいため、地温を下げるために水を散布したり、玉葱ピッカーの走行速度を調整したりと慎重に収穫作業が行われていました。

藤原部会長は「今年は春の移植や生育も順調に進んだので、良い出来栄です。みなさんにおいしく食べてもらえたらうれしいですね」と笑顔で話してくれました。

(北島 太)



写真は7月16日、北見地区・豊地の藤原義忠さんのほ場・倉庫にて撮影。真白玉葱振興会では今年の作付けは19戸、面積は約16㍓、7月中旬から下旬にかけて収穫作業が行われます。
上の写真は取材後、いただいた真白をサラダにしました。玉葱醤油と相性がよく、シャキシャキ感があり、とっても美味しかったです。
今が旬のこだわり野菜の真白、北見市内ではコープさっぽろとイオンで8月から10月頃にかけて期間限定で販売されています。一度味わってはいかがでしょう。



もくじ CONTENTS

特集1	4
第14回	
JAきたみらい乳牛共進会	
特集2	6
新規就農者激励状授与式と 交流研修会開く	
○季節の薫り	2
○表紙紹介	2
「健康でのびのびと育て」	
○地域だより	8
○ほのぼの広場	10
・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・プリティーウーマン ・わが家のアイドル	
○JAからのお知らせ	12
○おひさまサラダクッキング 「温野菜サラダ」	24
「ニンジン」の冷製ポターージュ	

表紙紹介

健康でのびのびと育て

7月23日、杉山家の玉葱畑で待ち合わせをしました。長男の正宗(まさむね)くんはお父さんにべったりのお父さんっ子です。取材中も後で一緒に自転車に乗りに行くことお父さんにせがんでいました。正宗くんは町内の認定子ども園に通っている年長さんで、好きな食べ物もトマトです。大きくなったら「宇宙戦隊キュウレンジャー」になりたいと話してくれました。ちよっと照れ屋さんの椿(つばき)ちゃんも、弟の正宗くんの面倒もよく見ており、お姉ちゃんらしく落ち着いています。小学1年生の椿ちゃんは今年の春からお気に入るの紫色のランドセルを買って小学校に通っています。好きな授業は図工と体育で、将来の夢は「お絵かきさん」です。そんな二人にお父さん、お母さんとも「健康でのびのびと元気に育ててほしいですね」とこやかに語り、お母さんの舞さんは「サラリーマン時代と違って家族で過ごす時間が増えました。いろんな人に支えられ、ここに就農できて本当に良かった」と話してくれました。(北島 太)



【ご家族紹介】
前列左から～椿ちゃん(6)、正宗くん(5)
後列左から～お父さんの正樹さん(35)、お母さんの舞さん(33)
経営の概況：玉葱など約7㍓

第14回JAきたみらい
乳牛共進会



▲子どもたちで賑わうお楽しみコーナー



▲入念に仕上げをする出品者のみなさん



▲審査が行われた会場の様子



▲子どもたちにも好評のきたみらい牛乳の無料配布



▲開会の挨拶を述べる西川組長

当JAときたみらい酪農振興協議会の共催で7月15日、訓子府町の北見管内畜産総合施設で乳牛共進会を開催しました。

きたみらい地域から67頭の乳牛が出品され、体型の美しさや骨格の力強さ、乳房のバランスなどの資質を競い合いました。審査員は上土幌町の酪農家・吉田智貴氏が務めました。当日は今年一番の猛暑36.9℃を記録するなか、出品牛、ご来場者ともに体調を崩すことなく無事、終了できました。

最高位賞は、未経産の部、経産の部ともに上常呂地区の神田典廣さんが出品した「バレルファーム ドアマン シヤグラ E.T」(未経産、



▲未経産・経産の部の最高位、準最高位の荣誉に輝いた4頭と関係者のみなさん

【未経産の部】	最高位 「バレルファーム ドアマン シヤグラ E.T」	上常呂	神田典廣氏 (左2頭目)
	準最高位 「ロイヤルクイーン デニソン ギヤラクポリタン」	訓子府	稲辺祐也氏 (左1頭目)
【経産の部】	最高位 「オークリーフ サラ フィーバー パンダ」	上常呂	神田典廣氏 (右2頭目)
	準最高位 「DH チャンス デー」	北見	山内 誠氏 (右1頭目)

マン シヤグラ E.T」(未経産、「オークリーフ サラ フィーバー パンダ」(経産)が受賞しました。ショウマンショーでは14頭が出品。小学3年生以下の部、小学4年生以上・中学生・高校生・実習生の部が行われ、大人に負けないリードを魅せました。

会場ではその他にきたみらい牛乳の無料配布、子ども向けお楽しみコーナーや焼肉広場、抽選会など、大勢の来場者で賑わいました。



▲審査員を務めた吉田智貴氏



▲デイリークイーンを務めた須河職員(左)、菊地職員(右)



▲ショウマンショー小学3年生以下の部に参加したみなさん

新規就農者に激励状を授与

くきたみらい管内に14人が就農く

第一次産業の農業を「自分の職場」として、高校・大学などを卒業して就農された方、あるいは他産業に従事し、第二の職場としてUターンされた方、いずれも農業に意欲を持って取り組む青年に、毎年、JAグループ北海道五連から激励状が贈られます。

今年の激励状授与式と北見地区新規就農者交流研修会が6月30日に行われました。

北海道の農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲を持って取り組む青年に毎年、JAグループ北海道五連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と記念品を贈呈しています。

本年度は、全道のJAで約420



▲激励状を受け取る細川琢未さん(訓子府地区)

人の青年に授与されました。当JAでは新規学卒者で2人、Uターン等で12人の計14人に授与されました。

激励状授与式は、6月30日にJAきたみらいセンター事務所で行われ、9人が出席しました。

大坪専務はJAグループ北海道五連の使命と事業内容を説明し、激励の言葉を贈りました。その後、一人ひとりに声を掛けて激励状を手渡すと、新規就農者のみなさんは「頑張ります」と応えていました。



▲激励の言葉を贈る大坪専務

営農を楽しみ、仲間との交流を大切に

新規就農者交流研修会で 米森弘氏講演

オホーツク管内の北見市、訓子府町、置戸町の就農3年目までの若手農業者を対象にした北見地区新規就農者交流研修会が6月30日にJAきたみらいセンター事務所で行われ、45人が参加しました。

1市2町とJAきたみらいなどで構成している北見地区農業振興連絡協議会の主催で、農業の知識研鑽及び情報交換などを図ることを目的として開催されました。

講師はオホーツク農協青年部協議会の米森弘会長で、「JA青年部の活動と新規就農者に期待すること」と題して講演しました。米森会長はJAきたみらい青年部長を務めた後、2015年からオホーツク農協青年部協議会副会長、2017年から同協議会会長に就任されています。

米森会長は就農当時を振り返り、「まずは親と仲良くすることが大事で、毎日の情報交換をして仕事を言われなくても出来るようになったら一人



▲新しい仲間を激励する米森会長

前。そのためにも組織活動に積極的に出て、仲間同士で情報の共有や、ブレンドをして知識を自分のものにしていく」と話し、新たに就農した仲間たちへエールを送りました。

また、JA青年部活動の取り組みや、北見藤女子高校との食育事業などを報告。組織活動を通じた仲間づくりや地域振興を説明したほか、「農業を『楽しむ』ことが何より大事」と話しました。



▲先輩の言葉に耳を傾ける仲間たち



▲焼肉を囲み交流



▲新しい仲間を囲んで記念撮影

新規就農者激励状授与式



▲授与式に出席した9人の就農者とJAきたみらいの役職員

青年部西支部(星加陽平支部長)は7月4日、5日に視察研修を行い、部員25人が参加しました。

1日目は十勝農業試験場(芽室町)を視察し、ヘリコプターや光学式センサなどを使った可変施肥技術について講習を受けました。近年導入されてきたシステムを経営に活かそうと機械の仕組みについて質問するなど部員たちは真剣な表情で受講していました。

2日目は、同支部で行っている小麦の硝酸カルシウム試験の協力機関である北海道有機(札幌市)を視察。取り扱っている肥料や道内の施肥事例などの説明を受け、部員からも多くの質問が出され活発な意見交換となりました。

視察全体を通して星加支部長は「今回学んだ知識を今後活かしていきたい。また部員間でも交流が図ることができた。これからも部員が充実感のある青年部活動を実施していきたい」と話してくれました。

(菊池 光祐)



▲北海道有機(株)での集合写真

西地域 温根湯・留辺蘂・相内 視察研修で 今後の糧に

～青年部西支部視察研修～



▲掛け声に合わせてながらJAをアピールする青年部のみなさん

東地域 北見 舞踊パレードで JAをアピール

～組合員ら142人が参加～

第64回北見ぼんちまつりが7月14日から16日まで北見市内で行われました。初日の「舞踊パレード」には34団体の約2,600人が参加し、軽快な「サンバ北見ばやし」の音楽に合わせて市街地約1kmを踊り歩きました。

当JAから役員や組合員、青年部、女性部、フレッシュミズなどの142人が浴衣やはっぴ姿で参加しました。青年部員らは威勢の良い掛け声を響かせながらミニトラクターの山車(だし)を牽引し、沿道に集まった方々にJAをアピールしました。

終了後の慰労会ではJAセンター事務所でカラオケを楽しみ、組合員同士の交流を図りました。

(高田 陽介)



地 域 だ よ り



青年部西支部留辺蘂地区(今部直恒地区長)は7月19日、留辺蘂地区を対象に廃農機具の回収を行いました。

この取り組みは、青年部が農村環境美化推進運動の一環として毎年7月中旬に行っており、今年で15年目となります。

廃農機具と部品、パイプ類、オイル缶、鉄骨など約1.6トン回収しました。

なかなか整理がつかず、家や畑の周りに置き去りにされている廃農機具類がきれいになると毎年好評です。

今部地区長は「今後も地域から求められる活動を実施していきたい」と話してくれました。

同青年部では今後も環境に配慮した活動を念頭に、廃農機具回収を継続していく方針です。

(菊池 光祐)

西地域 留辺蘂 廃農機具を 回収

～青年部西支部 留辺蘂地区～



▲廃農機具を回収するため、パレットに載せる部員

南地域 訓子府 大盛況の ふるさとまつり

～青年部訓子府支部～



▲牛乳ロールで牛乳を一気飲みする参加者

青年部訓子府支部(上原寛隆支部長)は7月8日と9日の両日、第38回ふるさとまつりを町や他の青年団体と共に開催しました。前夜祭では、「あしたのショー」や最近話題となっている「稀勢の里」の力強さを描いた図柄の行灯(あんどん)でパレードに参加。お客さんからも「すごい!」などと声が上がると好評でした。

翌日の本祭では毎年恒例となっている「牛乳ロール」競技。参加者は3人1組で牧草ロールを転がし、折り返し地点とゴール地点で「きたみらい牛乳」を飲むまでのタイムを競いました。優勝者には景品にくんねっぴメロンなどを授与しました。

また、当女性部訓子府支部では焼きそばを販売。約600食を用意し、全て完売する大盛況ぶりでした。

当青年部のふるさとまつり実行委員長を務めた小野卓也さんは「地元農業のPRができ、来場者もまつりを楽しんでいる様子だったのでよかった」とイベントに手応えを感じていました。

(菊池 光祐)

きたみらいの
ホープさん



怪我に気をつけて
日々の作業をしていく

端野地区・二区
山田 圭祐さん(28歳)

- 趣味は？
読書
- 好きな食べ物は？
うどん
- 好きな芸能人は？
新垣結衣
- 農業で学び実感したことは？
圃場ごとにクセがあり、それに応じた作業をしていくことが大変ですが、やりがいがあります。
- 今後の抱負は？
怪我をしないように気をつけながら、日々の作業をしていきたいです。

(高田 陽介)

圭祐さんは稲野複合経営の孝幸さん、幸子さんの長男で就農して2年目になります。

Pretty Woman
ウーマン



仲良く楽しくが一番！

置戸地区・雄勝
かわの ともこ
河野 智子さん(51歳)

今回は女性部置戸支部支部長の河野さんに登場いただきました。(石井 睦美)

◆ご出身、ご主人との出会いは？

親が転勤族で、高校卒業までは日高管内を転々としていました。弘前大学農学部に進学し、その後、小樽の北一硝子で2年勤めました。置戸には農村実習生【地遊人(じゆうじん)】として訪れ、主人とお付き合いが始まりました。半年の実習を終えたあとは美瑛へ。イモ料理のお店で住みこみで働きながら、パッチワークや木工などをしていました。その間に結婚を決め、置戸に嫁いできました。

◆ご家族は？

子どもは長女、次女、長男の3人です。今はみんなそれぞれに生活しているので、主人と主人の両親と愛犬でのんびり暮らしています。

◆趣味は何ですか？

手芸などのものづくりです。冬場にするものが多かったのですが、今は農帽をつくって勝山温泉うゆに置いてもらっています。ガーデニングにも興味があって、今年から庭先などに少しずつ花を増やしています。

◆組織活動の魅力や今後の抱負は？

仕事をしていると、近所の人ともなかなか集まる機会がないので、研修などでみんなに会えるのが楽しみです。仲良く、たのしく、わいわいできるのが組織活動の一番の魅力だと考えているので、参加するみなさんにもそう思ってもらえると嬉しいです。



置戸地区・境野
伊東 咲乃ちゃん(8歳)
ゆたか 雄崇くん(6歳)

わが家のアイドル

いつも一緒に、ながよし姉弟

取材に伺うとお母さんの後ろから恥ずかしそうに顔を出す咲乃ちゃん。取材の前日に子ども会の行事で十勝のチーズ工場に行ってきたので、ちょっと疲れ気味。弟の雄崇くんは対照的に元気いっぱい走り回っていました。

お姉ちゃんの咲乃ちゃんは学校から帰ってきたら、DSゲームで遊んでいます。咲乃ちゃんは弟ともよく遊んでいる様子でいつも一緒に。雄崇くんの手をしっかり握って写真撮影に挑戦してくれました。

将来の夢は、咲乃ちゃんは「ケーキ屋さん」に、雄崇くんは乗り物が大好きで「お父さんのようなトラクター乗り」になりたいと元気に答えてくれました。

そんな二人にお父さんとお母さんは「元気にのびのびと成長してくれたら」と話してくれました。

伊東憲一さん・亜実さんのお子さんです。

(北島 太)

Qお付き合いのきっかけは？

町の青年活動で知り合い、仲良くなりました。

Q趣味は？

子どもたちのスポーツの追っかけです。特に娘のバレーボールの試合をふたりでよく観戦にいきました。

東北から沖縄までいろんなところに行きましたね。その時が一番楽しかったです。お金もいっぱいかかりましたけど…(▽^;))

Qこれからしたいことは？

温泉に入ってゆっくりしたいですね。少し気が早いのですが、孫が生まれたらバレーボールの追っかけをするのが夢です。

Qお互いの好きなところは？

直幸さん…若くてかわいかったからな～(昔はね!!)

和江さん…話すと楽しく、私を笑わしてくれるところですね。

Qお互いへの感謝の言葉

直幸さん…いつも、ごはんを作ってくれてありがとう。

和江さん…家族のために働いてお金を稼いでくれてありがとう。

私を路頭に迷わせないでね。(北島 太)



ながよし夫婦

孫のバレーボール観戦が夢

訓子府地区・北栄
山本 直和
なお 直和
ゆき 幸さん(58歳)
え 江さん(53歳)

INFORMATION



▲みらいサミットに出席した7JAの代表者の方々

第9回 JAみらいサミット開催

～「JAの応援団づくり」をテーマに～

JA名に「みらい」を冠する7JAが一堂に会する「JAみらいサミット」がJAきたみらいの主催により7月3日、4日の両日に開催されました。第9回を迎える今回のサミットについては、昨年(平成28年9月)に開催する予定でしたが、未曾有の大震災により延期となり、2年ぶりの開催となりました。

また、平成28年3月にはJA伊達みらいを含む福島県北東部4JAが合併してJAふくしま未来となり、協定再調印を経て今回、合併後初のサミット参加に至りました。

サミット討論について

本サミットでは、「JAの応援団づくり」をテーマとして、北海道大学大学院の小林准教授の進行により、白熱した討論が展開されました。

主催者を代表し、JAきたみらいの西川組合長は、「我々が自己改革のお手本となるよう、地域の農業者・住民に愛されるJAを目指したサミットにしたい」と述べました。

支店活動を核に住民と関わる機会を充実させることや、准組合員との交流を深めるイベントの重要性などを共有したほか、青年・女性組織の活性化や女性理事の登用についても議論されました。

農業・JAを取り巻く環境が大きく変化している中で、自己改革の主な目的でもある「農業者の所得増大」と「地域の活性化」を実現するために、サミット相互間の産地間連携や交流活動等を充実させることをサミット宣言として採択しました。

当JA管内視察について

2日目は、当JA管内に移動し、玉ねぎ選果施設や低温貯蔵倉庫などを見学しました。道中の圃場視察では北海道農業のスケールの大きさを実感する場面もありました。

オホーツクピアファクトリーでの昼食は、「オホーツク塩焼きそば」や「たまごろ」「白花豆のサラダ」など、地場産の食材を堪能していただきました。

今後の取り組みについて

- ・ 開催要領に基づき、来年度はJAふくしま未来(福島県)で第10回みらいサミット会議を10月中旬頃に開催する予定。
- ・ 今後は協定の趣旨に基づき、協定JA間の連携として農畜産物の直売連携、情報交換、人的な交流等を更に強化し展開していく。(JA東京アグリパークでの特産品販売フェア、サミットJA間の人事交流研修会を実施する予定)



▲肥料の海上輸送(全農HPより引用)



購買事業は、組合員にとって必要不可欠なものでありますが、近年、JAの購買事業を取り巻く環境は一層厳しくなっています。原点に立ち返り、JAの購買事業のあり方を真剣に考えなければなりません。

【連載】今こそJA!～その意義と役割～

第9回 JAの購買事業

組合員の活動に必要な生産資材や生活物資を供給するのがJAの購買事業です。肥料、農薬、飼料、燃料、農業機械、食料品、衣料品など、その取り扱う範囲は極めて多岐にわたっており、JAの事業の中でも組合員にとって最も身近なものでしょう。

JAの購買事業では「取りまとめ購買」という方式をとっています。JAは組合員の営農計画をもとに必要な量を取りまとめ経済連(ホクレン)、全農を通じて資材製造・販売業者に発注します。発注された業者は大量かつ必要な量を製造することでロスを少なくすることができますから、全農、経済連としても業者に対して価格の引き下げなど有利な交渉を展開できます。なお、この方式は、ほぼ全ての生産資材、生活物資にとって共通のものとして行われています。

また、JAの購買事業も他の事業と同様に、3段階方式をとっています。肥料を例にとってみると、原料を全農が海外から大量に輸入し、これをもとに製造した肥料を経済連(ホクレン)からJAを経て組合員へ届けられます。近年、肥料原料が国際的に逼迫している状況がありますが、全農を通じた大量仕入れにより安定的な原料確保が可能となります。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを「ご覧ください」。

JA北海道中央会



6月11日に全道3会場(JAさっぽろ、JA帯広かにし、JAしべちや)にて「みんなのよい食JA親善大使」を開催しました。

この取組みは、北海道コンサドーレ札幌の選手がJA親善大使として、子どもたちと共に「よい食」とは何かを考え、食の大切さや地域の農業の役割を再認識してもらうものです。合計約200人の子どもが参加し、特に自分たちで調べて問題を考えた「北海道の食と農に関するクイズコーナー」は各会場大盛り上がり。農業への理解・関心を深めてもらうことができました。



JA北海道信連

6月に、札幌駅前通地下歩行空間でJAバンクのPRイベントを行いました。

当日は、「ドローン貯キャンペーン」のPRや若手女性農業者集団「Link's」の内山佳奈さんによるトークショー、「ちょリス」グッズの当たる「クイズ大会」等を実施しました。また、「ローン相談コーナー」の設置やSNSに「ちょリス」の写真を投稿した方へ記念品を配布する等、JAバンクを広くPRできました。



ホクレン



ホクレンでは、今後の営農の参考にしていただくため、地域に合わせたスマート農業技術の紹介に取り組んでおります。7月1日に開催した上川地区のフェアでは、圃場水管理、ハウス関連機器、アシストスーツ、センシング関連、ドローン、GPS自動操舵の6分野で新技術の紹介やセミナーを実施し大勢の生産者や関係者に来場いただきました。今後も、スマート農業の普及に向けて情報発信に努めてまいります。



JA共済連北海道



組合員・利用者の皆さまへ事業概要や支払規模、経営の健全性を紹介する資料として、平成28年度の事業概要をまとめたリーフレット「JA共済安心めっせーじ」を発行しました。

「ひと・いえ・くるま」の主な保障の保有実績や共済金支払実績、経営状況や地域貢献活動への取り組みなどをわかりやすく説明しています。今後も、皆さまに安心してご利用していただくため、情報をお届けしてまいります。



JA北海道厚生連



この度、北海道厚生連はホームページをリニューアルいたしました。より快適にホームページを使いたいだけけるよう情報を整理し、分かりやすく見やすいレイアウトにしました。またスマートフォンやタブレットからの閲覧もしやすくなっており、今後もよりいっそう充実したホームページにしていきたいと思います。引き続きよろしくお申し込み申し上げます。



INFORMATION

青年女性 ネットワーク

青年女性 ネットワーク



▲開講式に集まった受講者のみなさん

A技術開発グループの庄子隆之マネージャーを講師に「雑草の種類と特徴」について学び、畜産クラブは網走農業改良普及センターの野原弘義畜産専門普及指導員を講師に「牛の習性と特徴」「牧草と雑草の見分け方」について学びました。参加者からは熱心な質問も挙がり、「学習したことを日々の営農を通じて、早速実践に活かしたい」という積極的な声も聞かれました。

両クラブともに年間5回の講座を計画しており、受講者の意向を踏まえた講座内容を検討していく予定です。 (石井 睦美)

フレミズ会員の知識向上に 有志組織を結成 畑楽クラブ・畜産クラブが開講

JAきたみらいフレッシュミズは6月5日、畑作分野の「畑楽（はたらく）クラブ」と畜産分野の「畜産クラブ」、2つの有志組織を結成し、開講式を行いました。平成25年より、会員向けに「学習会」を開催し、基礎的な知識の向上に努めてきましたが、学習意欲が高まったことから、経営形態に合わせた二つの組織を設けました。

畑楽クラブはきたみらい地域の女性農業者を対象に、過去2回開講していましたが、今回からフレミズ活動の一部として新たに開講。畜産クラブは初めての開講となります。合同開講式には、受講者17人が集まり、オリエンテーションではこれからともに学ぶ仲間同士、自己紹介を行いました。

その後、実施された第1回講習会は基礎的な内容であることから、受講者以外のフレミズ会員にも参加を呼びかけ、総勢40人が参加しました。畑作分野は当J



▲協力してボールを運ぶ参加者のみなさん



▲息を合わせて、ゴールに向かってダッシュ！

思い出のスポーツセンターで 伝統行事の「運動会」開催

JAきたみらい女性部訓子府支部（小林まゆみ支部長）は6月6日、恒例の「運動会」を開催し、部員72人が参加しました。

この運動会は41回目を迎えた伝統行事で、現在も部員の9割が参加するほどの人気ぶり。例年使用していた訓子府町スポーツセンターは今秋、解体が予定され、慣れ親しんだ場所での最後の運動会となりました。

開会式で小林支部長は「みなさんの思い出の詰まったスポーツセンターに感謝し、運動会を楽しみましょう」と挨拶。地区ごとに紅白2チームに分かれて、玉入れやバナナの早食い競争など合わせて11種目を実施。団体競技では接戦を繰り広げるなど、好プレーに会場は大きな歓声で包まれました。

運動会終了後は、ジンギスカンを囲んで懇親会を行い、日頃の農作業を離れて交流を深めました。 (石井 睦美)



▲新採用職員と交流を深める青年部員のみなさん

ソフトボールで交流を深める ～部員ら90人が参加～

JAきたみらい青年部（藤森秀志部長）は6月28日、全5支部の部員が交流するソフトボール大会を訓子府町レクリエーション公園で開いた。部員、職員合わせて90人が参加し、熱戦を繰り広げた。

北見支部の引地隆之さんが「農作業で培った体力と精神力で楽しくプレーする」と選手宣誓。5支部混合の8チームがA、B両コートに分かれトーナメント戦を行いました。穏やかな天候のなか、白球を追う部員に、両ベンチから拍手や声援が送られた。

藤森部長は「本年度より新人職員の参加もあり、交流を深めることができました。今後もこのような交流を行っていききたい」と話しました。

競技終了後は参加者全員で焼き肉を囲み、親睦を深めました。アームレスリング大会も行い、11月のオホーツクJA青年部大会での大会出場権をかけて部員10人が腕力を競い、訓子府支部の昆野将之さんが優勝しました。 (織田 和訓)



▲白熱したアームレスリングを行う青年部員



▲農作業安全講習を受講する女性部員、フレミズ会員

女性部・フレッシュミズが合同で 初めての農作業安全講習会を開催

JAきたみらい女性部とフレッシュミズは、6月5日、センター事務所にて初めての農作業安全講習会を開催し、女性部員、フレッシュミズ会員ら47人が参加。農作業事故の発生事例や事故防止方法について学びました。

「農作業中にヒヤリ・ハットの経験がある」「事故が起きる危険箇所や発生事例を知りたい」という部会員の意見から女性を対象とした同講習会の開催を企画し、ホクレン北見支所農業機械課の協力で実現しました。講師のホクレン本所農業機械課馬淵彰司氏が発生事例について現場の再現写真や映像とともに解説すると、生々しい事故の惨状に参加者からは時折驚きの声があがりました。

馬淵氏は「単なる、気を付けましょうという呼びかけは事故防止にはならない」としたうえで、「ヒヤリ・ハットを経験したことがある人がほとんどだが、他人事だと思ふ気持ちから事故が起こる。危険箇所や防止方法は家族で共有してほしい」と呼びかけました。



▲講師の馬淵彰司氏

フレッシュミズの松崎久美会長は「写真や映像を見て、他人事だと思っていた事故を現実のものとして感じる事ができました。私たちの呼びかけから共同作業者と連携をとって、事故ゼロへつなげたい」と話していました。 (石井 睦美)

“組織の声”をJA運営に 組合員組織とJA常勤理事 との意見交換会

JAきたみらい女性部（北野はるみ部長）とフレッシュミズ（松崎久美会長）、青年部（藤森秀志部長）の執行部役員は6月29日、センター事務所にてJA常勤理事との意見交換会を行いました。

女性部からは女性が組織活動に参加しやすくなるよう、快く送り出してくれる環境づくりへの協力を呼びかけ、フレッシュミズからは、加工品のペットボトル化や農作業着の充実など女性目線からの改善点が挙げられました。

青年部からはJAで所有するドローンの使用方針や農業資材への助成、職員の配置についてなど幅広い意見が挙がりました。

また、昨年各組織から出された意見が実現されたものもあり、JA側に感謝の声も寄せられました。今年度も意見要望は各部署に繋がれ、JA事業に反映していく予定です。



▲熱心な意見交換を交わす三組織（①：女性部、②：フレッシュミズ、③：青年部）のみなさん



▲“熱狂”歓喜に沸く（札幌ドーム）

JAきたみらい女性部 支部合同 「部員交流視察研修」報告

女性部では初の試みの日程選択制（6月25・26日、7月9・10日）を導入した支部合同研修に部員120人が参加しました。初日は、劇団四季の鑑賞とプロ野球観戦の2コースに分かれて、その後懇親会で交流を図りました。翌日は、千歳市のキッコーマン工場を見学しました。

**「ミュージカルの最高峰
「劇団四季」迫力に感動**

ロングラン公演を更新中のミュージカルの最高峰。音響と最新技術を使用した高いクオリティが圧倒するパワーで迫ります。キャストの魅力と壮大なストーリーが熱い感動を呼びました。

**「野球」6月、7月で明暗
後発隊がリベンジ!!**

先発隊（6月）は、楽天に0-6で完敗。後発隊（7月）は、ソフトバンクに2-0で快勝。ゲームセットと同時にシエッタ風船が宙に舞う。投打のヒーロー、日本ハムの上沢投手、西川選手がお立ち台に上がり大声援に応えました。勝利の火花を見届け、6月の雪辱を果たしました。

**「懇親会」ゲームが白熱、
クイズが交流の特効薬**

懇親会では、グループ対抗で2つ



▲クイズの回答席、○×に“一喜一憂”



▲“身体を張って競った”クイズ○×新聞紙ゲーム

のゲームを行いました。1つが、芸能人の名前の空欄をグループで相談して漢字1文字を埋めるもの。題して、「イケメン芸能人名前当てクイズ」。次のゲームは、各グループから2人1チームがステーションに上がり、相談席がクイズに不正解のチームは、2人が敷く新聞紙の大きさが半分になっていくもの。ステーション相談席の連携はいかに。クイズが進むと、どのチームも足元の新聞紙が小さくなり、ついには、おんぶにだっこも崖っぷちの踏ん張りに、「急いで！クイズ、早くして〜」と悲鳴まで。白熱したステーション相談席が融合、ポルターシーは最高潮に達し、身体を張った交流が披露されました。

そんな思いに心え、場を盛り上げ、思い切り楽しんだ皆さんには一様に笑顔が溢れていました。こうした積み重ねが今後の交流活動に生かされることでしょうか。参加された部員の皆さん、大変お疲れ様でした。



▲キッコーマン工場を見学（千歳市）

醤油の歴史と 製造工程を学ぶ

翌日は、キッコーマン工場での歴史・製造工程についてビデオを交え、見学しました。北海道産の大豆と小麦を使用でき、船便の苫小牧市に近く、千歳の水質の良さも工場建設の決め手になったと説明がありました。醤油の製法は昔と変わらないうが、機械化が進んだ今日。私たちの身近にありながら、意外と知らない醤油に感謝の気持ちが芽生えた視察となりました。

帰りの車中で、本視察研修と次年度の意向調査を行いました。集計結果を踏まえ、次年度の参考とさせていただきます。（本多 勝彦）

オホーツク管内JA中古車検索サイト 公開スタート!!

（平成30年3月31日まで予定）

オホーツク管内JA、協力ディーラー、ホクレン油機サービスの当サイトを通じて購入された方に
**税別30,000円相当のオプション・
本体値引きまたは付属品をサービス!**

まずは、<http://www.ucars.jp>にアクセス!!

スマートフォン・パソコンから閲覧できます。お問い合わせは各JA自動車担当窓口まで

夏の「新車フェア」開催中!!

4メーカー「全車種対象」特別企画
TOYOTA SUZUKI SUBARU MITSUBISHI MOTORS

ご成約でいずれかおひとつもれなくプレゼント

A 30,000pt進呈!	D パークゴルフクラブ
B 旅行券3万円分	E 高圧洗浄機
C セレクト・フォー・ユー+JCB商品券	F 高圧洗浄機

軽トラック新車ご購入の方は
スタッドレスタイヤ4本プレゼント/ホイール付き

さらに 新車ご成約または軽トラック新車ご購入の方に
ホクレンエンジンオイルプレゼント!

【お問合せ先】
JAきたみらい 燃料自動車グループ
生産資材拠点センター
(☎ 0157-47-2099)
常呂郡訓子府町駒里44番地2

伝書鳩WEBサイト
「オホーツク特選街」掲載スタート!
きたみらい給油所のお得なイベント情報などを掲載いたしますので、ぜひご覧ください
(下記URL・右側QRコードで公開。スマホからでもOK!)
<http://denshobato.com/tokusen/hokuren-ss-kmi/top.tks>



カナダ農業視察研修

農協役員21名が参加

農協役員は、6月12日から18日までの6泊7日の行程でカナダ農業関係の視察を実施し、役員21名が参加しました。紙面の都合上、視察先等を抜粋して報告を行います。

カンポテック社・PCSアラン社視察・研修

カンポテック社を訪問し、キースポール副社長との意見交換会、翌日はカンポテック社の株主である山元のPCSアラン社の鉱山に入山し、現地を確認するなど肥料に関する情勢を学びました。鉱山では、数十キロにわたるトンネルで採掘現場を確認しました。

また、全農アメリカの副社長から仕入先として留意すべきことを学び、特に港湾ストライキなどの動向を踏まえ、肥料の早取など戦略的な対応も必要と感ずりました。



▲カンポテック社 副社長による説明

- ① カリは希少物質であり、この業界を動かす大手の取引先は、ブラジル、インド、中国、東南アジアであり、それらの国から見ると、大事なことは買い負けないこと。
- ② ドイツの業者がカナダに鉱山を保有することになったため、需給面においては波乱要素になりかねない。(競争の激化)
- ③ 鉱山からの積み出しは、アメリカポートランド市から積み出すが、港湾労働者の賃金交渉は6年に1回行われる。恒例行事化しており、港湾ストライキ等が行われ、カリの価格等の価格が上昇している。次回は2020年に行われる。

全農アメリカとの意見交換

全農アメリカとの意見交換において、日本の攻める農業の見本となっている和牛の輸出業務について説明を受けました。政府が、農畜産物の輸出を行うための重大な一つの柱が「和牛」であり、輸出を支えるために、日本国内の和牛の生産基盤を強化する必要があります。

ただし、アメリカへの輸出は2007年までは無税で輸出できますが、それを超えた部分は関税を課されています。和牛も、アメリカでは「WAG

INFORMATION

個別農家ごとの生産割当量の配分等、出荷を一元的に管理する「供給管理制度」という仕組みを運用しています。

- ① 供給管理制度
- ② 生産管理
- ③ 国境措置による輸入量の管理
- ④ 生産費に基づく価格決定

TPPの大筋合意に際しては、供給管理制度を見直すところまで進んでいたと聞いており、破たんした結果、供給管理制度を維持することなどで、何も変わっていないとの説明を受けました。2005年のカナダの国会決議により、「供給管理制度部門でいかなる枠外税率の削減も、かついかなる関税割当枠の拡大もしてはならない」と守ることにしたそうです。我が国とは、農業者を守るという国のスタンスが違っていると感じました。



▲アルバータ州農林局での研修風景

食の安全・安心(EU)

EUは、ホルモン剤を使用した牛肉は健康面で問題・安全だと証明できないなどの理由から輸入は不可。一方、アメリカ・カナダは、ホルモン剤の使用は科学的に認知を得たSPS基準であり、使用しても問題ないとして報復関税措置を行っており、現状も最終的な決着はついていません。

日本に輸入されるアメリカ、オーストラリア、カナダから輸入されている牛肉のほとんどは成長ホルモン剤を投与されたものであり、北大の医師の研究によると、発がんリスクが非常に高くなり、「食肉中に残留しているホルモン剤(エストロゲン)」と発がん性に何らかの関連性がある」との研究結果もあり、ホルモン剤の投与された牛の生理が速くなるなど、様々な弊害があるようです。WHOのデータによるとホルモン剤を投与した牛の輸入を中止した1989年以降、「EU諸国の乳がん死亡率が大幅に下がった」とのデータがあります。また、遺伝子組み換え作物についてもEUとの争いがあるとの説明を受けました。

我が国を考えると、国産の牛には成長ホルモン剤の投与は禁止されているものの、海外から輸入される牛は、科学的見地から証明されたアメリカが主張するSPS基準に合致していることから認めている等、食の安全安心に不安感を感じます。アメリカ・カナダでは成長ホルモン剤を使用しないオーガニック食品に回帰しており、自らの健康を守る動きとなり、大きな市場になりつつあり

YU」の表示で「アンガス和牛」も含み、純粋な和牛を指していません。

なお、日本とカナダ政府の間で締結された食肉検査に関する相互協定のもと、カナダの衛生基準に合致した合格機関として認定された食肉加工施設で製造した加工品のみがカナダに輸入することができるのですが、CFIA(カナダ食品検査庁)検査済みの認定施設が日本に存在しないため、和牛の輸入は認められていません。

これこそが、門戸は開けているが一切輸入をさせないとする非関税障壁の典型的なものであるとの話でした。関税だけが農業を守るものではないと再認識し、食の安全・安心を前面に出すため、どのようにするのが重要であります。関税だけが全てではありません。

アルバータ州農林局研修

州農林局では、農家の経営指導や、融資等など様々な対応を行い、我が国の普及センターに、農協の営農指導等をセットにしたような組織です。やはり、カナダにあっても我が国と同じように高齢化が問題であり、以前は新規就農等をメインで行っていましたが、今は、農業者の子弟が後継者になるような取り組みが必要であると説明をしておりました。

感心したのは、カナダの農業政策です。カナダにおいて重要なのは弱い農業を守る供給管理制度であり、牛乳・乳製品、鶏肉、七面鳥、鶏卵、種の5品目に関しては、価格安定等を目的として、

ます。TPPにおいては、SPS基準(注1)に合致しているものは輸入を認めるとされており、日本で使用禁止の防腐剤等を含め承認する旨の記載がされています。

EUが主張するように、本当にSPS基準が大丈夫なのか。我が国の食の安全安心の基準が後退をしており不安感が増す状態になっています。

政府は、国民の健康よりも経済を重視する政策なのでしょう。世界一健康に気を遣う食の安全・安心の基準を確保してもらいたいと思います。

注1 SPSとは各国で異なる検査体制では一つひとつその基準を満たしているかの可否判断が難しいため一つの基準に一本化している

編集後記

今回のカナダでは様々なことを学習しました。
1. 植物防疫、動物防疫や食の安全安心に関すること。(非関税障壁)
2. 供給管理制度を維持する国の姿勢
3. 子供たちに対する農業への教育の重要性
4. 6年に1回港湾ストが有り、肥料の価格が上がるかもしれないこと〔次回は2020年〕
5. イノベーションの重要性
また、様々な情勢について意見交換をしました。平成28年の農協法改正等による影響
・公認会計士監査の導入
・女性役員の登用についての努力義務化
・5年後の准組合員制度の見直し等
お互い、今回の研修会を通じ、国際感覚を持った経営者として、少なくとも前進したと確信しています。(齊藤 和雄、佐藤 浩、宇野 広勝)

INFORMATION

第6回 理事会報告

7月27日、午前10時より第6回定例理事会が開催され、報告事項14件、決議事項4件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①内部監査（無通告（現金取扱部門）、貯金・共済・総合渉外部門）報告について
 - ②組合員状況報告について
 - ③財務状況報告について
 - ④平成29年度夏期地区別懇談会意見集約について
 - ⑤役員海外視察研修の報告について
 - ⑥人事の発令について
 - ⑦作況調査（7月15日）について
 - ⑧平成29年度作付実態調査の集約について
 - ⑨青年・女性組織と常勤との意見交換会について
 - ⑩H28年産共計玉ねぎ・馬鈴しょの本精算について
 - ⑪乳牛共進会について
 - ⑫相内SSセルフオープンキャンペーンの実績報告について
 - ⑬労働審判について
 - ⑭小麦なまぐさ黒穂病全筆調査結果について

- 【決議事項】
- ①出資減口について
 - ②固定資産の取得について
 - ③H29年産生乳生産の取り進めについて
 - ④哺育育成センター堆肥舎上屋改修工事に係わる業者選定について

夏貯金
キャンペーン
金利 0.1%年 ~ 0.15%年
平成29年 6月1日 8月31日

1年以上貯蓄で10万円以上お預入の方は、夏期継続時は10万円以上の増額優待を対象とします。

JAきたみらい 詳しくは、お気軽にJAバンク窓口までお問い合わせ下さい。

本店	留辺蘂支店	訓子府支店	上常呂支店
011-871-246	011-871-42-2212	011-871-43-2067	011-871-38-2122
温根湯支店	置戸支店	相内支店	磯野支店
011-871-43-2070	011-871-52-2111	011-871-27-2021	011-871-38-2113

夏期地区別懇談会終える 活発な意見や質問が101件

地区毎の出席状況

開催日	地区	組合員戸数	出席戸数	出席者	出席率
7月11日	端野	194	55	60	28.4%
7月11日	北見	181	52	55	28.7%
7月12日	留辺蘂	35	17	25	48.6%
7月12日	温根湯	71	21	26	29.6%
7月13日	置戸	91	30	41	33.0%
7月13日	訓子府	290	53	54	18.3%
7月14日	上常呂	109	18	19	16.5%
7月14日	相内	84	33	38	39.3%
合計		1,055戸	279戸	318人	26.4%

7月11日から14日までの4日間、8会場にてJAの「夏期地区別懇談会」が行われました。

組合員と家族のみなさんなど79戸318人とJA常勤と西・南・東地域ごとに役員が出席しました。資料説明に続き、多くの組合員のみなさんから延べ101件の活発な意見や質問が出されました。

なお、懇談会で出された質問・意見・要望などについては、その場にて考え方などの回答をしましたが、検討を要する事項については、8月

退職のお知らせ

平成29年7月14日付で職員が退職しましたのでお知らせ致します。

在職中は、組合員皆様をはじめ、地域皆様のご厚情を頂き誠にありがとうございました。



丸山 恵理
（営農振興部 企画振興グループ）

- ・H25.4 入組
- ・H25.5 営農振興部企画振興グループ

■在職期間 4年



オホーツク管内猟友会 担い手発掘安全射撃競技会

（一社）北海道猟友会北見支部は6月25日、北見国際クレー射撃場にて平成29年度オホーツク管内猟友会担い手発掘安全射撃競技会を開催しました。同講習会はJAきたみらいを含む20団体が協賛。4クラスにおいて、シングル、ダブル（一度に飛ばされる皿の数による）の部が行われ、52人（内5人は女性）が腕を競いました。

当日は射撃の大会形式による見学のほか、エソシカカレーの無料試食会、射撃シミュレーターが無料体験でき、多数の市民が来場しました。



▲飛ばされる的を射る参加者のみなさん



- 営農指導事業から
- ・JAコントラクター事業計画概要及び取りまとめにかかる留意事項について
- ・農作業事故『O』の実現に向けて健康診断の受診について
- 販売事業から
- ・各農畜産物の情勢 他
- 購買事業から
- ・生産資材情勢
- ・各整備工場の今後の方向性について
- ・燃料自動車（価格情勢）
- 総務企画部門
- ・農協を取り巻く環境について
- ・出資平準化に向けた方向性の検討について
- ・賦課金と料金利率の総合的な見直しの検討について



▲北見地区での懇談会の様子

開催の定例理事会で協議の後、「Q&A」にてお知らせ致します。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



7月号まちがいさがしの当選者

7月号のまちがいさがしの答えは「4、6、8、9、11」でした。正解者20名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。 ()内は地区名

- 西島 若葉さま (北見) ・杉山さち子さま (北見)
- 橘 来輝さま (留辺蘂) ・浅川 友子さま (訓子府)
- 岡崎 正晴さま (訓子府) ・黒川 清さま (訓子府)
- 渡辺 貴哉さま (相内) ・吉田 莉音さま (上常呂)
- 中野 洋介さま (端野) ・武田美栄子さま (端野)

以上の方々には、JAきたみらいの「麦まるごとどん平打ち」3袋をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、JAきたみらいの「玉ねぎと鶏もも肉の黒カレー」をプレゼント致します。

暑 いですね～。7月号のアイスクリームレシピは季節感があって良いなと思いました。手作りアイスクリームで涼を感じたいと思います。(北見地区 遠藤 正人さん)

まれにみる7月初めの蒸し暑さは身体にこたえますよね～。今回、GOODタイミングでアイスクリームレシピを載せられて良かったです。ありがとうございます。みなさんのおうちでも夏休みを利用して、子どもと一緒に楽しみながら作ってはどうでしょうか？

さ いしょはわかんなかったけど、みつかったよかったです。(北見地区 西島 若葉さん)

4番の木のえだの太さがおずかしかったかな？よく見つけられたねd(^_^)ナイス♪ なんと見くらべても、おなじじしか見えなかったでしょう。また、チャレンジしてね。

暑 い、暑いです！！海へ行きたい！！(北見地区 ペンネーム：オニオンかあさん)

あまりの暑さで玉葱が畑で煮えてしまうような感じてしたね。

今 回のまちがいさがしは超難問でした。また、挑戦したいと思います。(温根湯地区 岩橋 美咲さん)

本当に難しかったと思います。枝の太さが微妙に違ったり、犬のしっぽの長さが違ったりと難問でした。おかげで今回の応募は極端に数が減ってしまいました(;;)

VOICE 読者の声



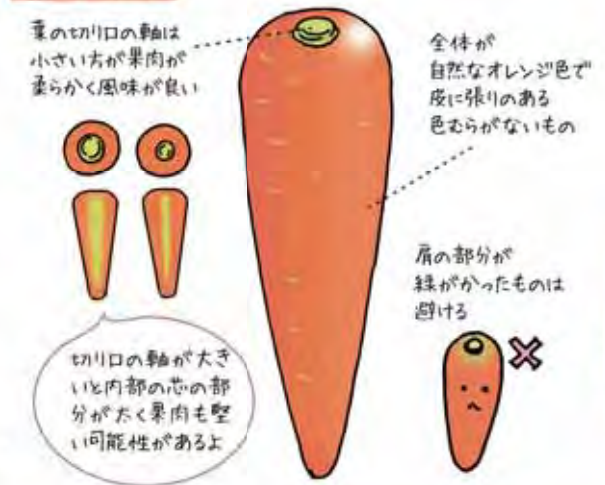
ニンジン

～カロテン豊富な緑黄色野菜の王様～

ニンジンのプロフィール

- 【分類】セリ科
- 【原産地】アフガニスタン
- 【和名】人参、芥人參
- 【おいしい時期(旬)】11～2月(周年)
- 【主な栄養成分】カロテン、ビタミンC、カリウム、カルシウムなど

見分け方



保存方法

葉付きの場合は切り離して保存。根の栄養や水分が葉の成長に使われてしまうのを防ぐ。表面の水分を拭き取り、新聞紙に包みかポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室へ。冬は新聞紙に包み冷凍保存でもOK。

ニンジンのヒミツ

ニンジン歴史 原産地は中央アジアのアフガニスタン。古代ギリシャでは薬用として栽培されていたよ。現在国内で一般的に流通しているのは西洋系のニンジン。東洋系は流通量が少なく、お祝い料理などに重宝される。名の由来にもなったカロテン ニンジンが含有する代表的な栄養素「カロテン」は英名「carrot」に由来。

ニンジンの子カラ

カロテンが豊富な栄養価の高い根菜。健康や美容のため積極的に取りたいね。緑黄色野菜の中でもカロテン含有量はトップクラスの赤みが濃い東洋系はリコピンも含有。カロテンは油に溶けやすい脂溶性ビタミン。バターや油と一緒に調理すると、カロテンの吸収が促進される。油との相性が抜群！カロテン・リコピンは強力な抗酸化作用が期待でき、がん予防やアンチエイジング効果があるといわれている。皮の部分に特に栄養が詰まっているといわれている。食感が気になるなら、しっかり洗って皮ごと調理するといよ。ニンジンには、ビタミンAが豊富に含まれ、ビタミンCやカルシウムも含まれるよ。

ニンジンいろいろ

- 五寸ニンジン** 根の長さが15～20cm、根の先が丸く詰まっているものが多い。現在の品種は五寸型が主流。
- 島ニンジン** 沖縄で栽培されている。耐暑性が強く、色は黄色で30～40cmと細長い。甘味があり、煮物、炒め物に。
- 金時ニンジン** 現在残っている数少ない東洋系。赤色の肉質は柔らかくて甘味強く、ニンジン臭さが少ない。中長型で長さ30cm前後。
- ミニキャロット** 長さ10cmほどで細長い。パピーキャロットともいう。特有の臭いが少なく、甘味があるので生食用に人気のあるものもある。
- 大長ニンジン** 長さ60～70cmの西洋系。柔らかく甘味も強いが、栽培に手間がかかるため、現在は正月料理用としての使用など、ごくわずか。
- 紫ニンジン** 果皮が紫色でアントシアニンを含む。酸味が強く、サラダや野菜スティックとして生食用できる。
- 三寸ニンジン** 早生品種で、長さ10cmほどの円筒形。生育は早い。収量が少なく、昭和30年代中ごろから減少。

楽しみ方・食べ方のコツ

さまざまな料理に使えるので、常備しておきたい野菜の一つだね。ニンジン特有の臭いや風味を抑えた品種が増えた。甘味が強いため、生食用の品種やジュース専用品種なども登場！



温野菜サラダ

【作り方】

- ①ドレッシングの材料を混ぜ合わせる。
- ②ジャガイモは下ゆでした後、素揚げにし、その他の野菜はそれぞれ沸騰した湯で歯応えが残るようにゆでる。
- ③②を器に盛りカットしたミニトマトを飾り、ニンジンドレッシングを回し掛ける。

【材料：1人分】

ニンジンドレッシング	温野菜
米酢 ……………100ml	アスパラガス ……1本
EVオリーブ油 ……100ml	ブロッコリー ……2房
サラダ油 ……………100ml	カブ ……………1/2個
すりおろしたマネギ ……1/2個	ジャガイモ ……1個
すりおろしニンジン ……1/2本	パピーキャロット ……2本
塩 ……………小さじ1	ミニトマト ……2個
こしょう ……………少々	
しょうゆ ……………大さじ1	

メモ

ニンジンドレッシングはカルパッチョソースとしても、ゆでた豚肉などに掛けてもグッド。



ニンジンの冷製ポタージュ

【作り方】

- ①ニンジン皮をむき、一口大に切り、塩少々を入れた湯で柔らかくなるまで下ゆでする。
- ②①をかつおだしと合わせミキサーでペースト状にする。
- ③②に牛乳・生クリームを合わせ、塩・こしょうで味を調える。
- ④パセリを散らし、EVオリーブ油を数滴掛けて出来上がり。



【材料：4人分】

ニンジン ……………1本
かつおだし ……………1カップ
牛乳 ……………1/2カップ
生クリーム(35%) ……1/4カップ
塩 ……………適宜
こしょう ……………適宜
EVオリーブ油 ……………少々
パセリ ……………少々

メモ

ゆでたジャガイモを合わせて温製ポタージュにしてもおいしいです。

編集後記

- ・7月は30℃を超える真夏日も続き、いよいよ夏本番ですね！収穫作業も始まりました。体調管理には十分ご注意ください。
- ・私事で恐縮ですが、この度結婚、退職する運びとなりました。入組して4年3ヶ月、たくさんの組合員の皆様にお世話になりました。広報の取材を通じて、たくさんの方と出会い、本当に楽しくお仕事させていただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。(丸山 恵理)

JAきたみらい概要

(平成29年7月18日現在)

- ・組合員数(正) 1,711人
- ・組合員数(准) 6,238人
- ・組合員戸数(正) 1,052戸
- ・貯金 105,879百万円
- ・貸出金 16,585百万円
- ・出資金 4,973百万円